

単元名	5年 小数のかけ算	学習活動	学習の観点	時間
目 標	(1) 乗数が小数である場合も乗数が整数の場合の乗法の意味を拡張すればよいことに気づき、乗法の意味についての理解を深める。 (2) 乗数が小数である場合の乗法の計算のしかたを理解するとともに、進んで既習の計算と関連つけて考えようとする。また、その計算能力を伸ばす。 (3) 小数のかけ算についても、整数の場合と同じ関係や法則が成り立つことを理解し、その活用を図る。 (4) 小数の乗法の結果を概数で表すことを理解する。	関心 ・ 積と被乗数との関係について考えようとする。 態度	個人対応するための方策 T1 (教室) ・見通す ・ネームカードによる確認。 ・角算 ・考え方を書く。 ・線分図によるヒント提示。 ・式 ・言計算 ・手渡り ・計算方法を忘れてしまっている者にはT.M.O.S.のフレーム準備 F0922 0924 ・できたら本時の課題にもとずき、いつでもパソコンにもとれるようにフレーム準備。 ・答え ・「ねりあう」 ・考え方の発表。 ・「まどめる」 ・「1より小さい数をかけると、その積は、かけられる数より小さくなる。」 point 1 小数×小数の計算の習熟。 (前時の学習状況を再確認) point 2 かけ算では、乗数×かけられる数という考えをうちけす。	13 乗数との関係を探る。
授業の実践・反省	[A (3) ア] [A (3) ア] [A (3) ア] [A (3) ア]	授業の課題・反省 その他の特記事項 授業課題 ⇒ ×不足 補充課題をつけて実施。 1 m の針金 20 g の針金 あり ます。この針金 1.8 m、0.8 m の重さはそれぞれ何 g ですか。 < 1 組 > 5/20 ▲「かけられる数」「かける数」などの用語を使って考えたり、発表したりすることが苦手である。 ▲筆算形式の書き方に注意が必要。 5/21 ◎『積<かけられる数』となる境界が、『かける数=1』であることの理解が不十分だったので、別な課題で考えさせて補充。 かけ算では、いつも、「積」かけられる数」が成り立つのか。 < 2 組 > 5/21 ・20×1.8=36 ▲用語の使い方については、1組と同様。 20×0.8=16 ▲かけ算の式の意味理解が不十分 (「かけられる数」の逆転) ▲単元1/13時2/13時の学習内容でとどまっている。 5/25 ◎1組での実践を生かして、『積』と『かけられる数』の大小関係を考えさせた。境界『1』の近くの場合を、実際に計算して確認させた。 < 3 組 > 5/25 ▲最初から、補充課題『かけ算では、いつも、「積」かけられる数?』も望みかけて、考えさせたが、その課題についての解答はまともななかった。 ・立式の傾向は、2組に同じ。36g、1.6gという答えはでた。 5/26 ◎児童の発表に他組の実践を生かして TK 計算してみなければわからない。 TN 2より小さいと小さくなる。 HY 「10」が「1」が「1」より小さいと小さくなる。 AE 1より大きいと大きくなる。	授業の課題・反省 その他の特記事項 授業課題 ⇒ ×不足 補充課題をつけて実施。 1 m の針金 20 g の針金 あり ます。この針金 1.8 m、0.8 m の重さはそれぞれ何 g ですか。 < 1 組 > 5/20 ▲「かけられる数」「かける数」などの用語を使って考えたり、発表したりすることが苦手である。 ▲筆算形式の書き方に注意が必要。 5/21 ◎『積<かけられる数』となる境界が、『かける数=1』であることの理解が不十分だったので、別な課題で考えさせて補充。 かけ算では、いつも、「積」かけられる数」が成り立つのか。 < 2 組 > 5/21 ・20×1.8=36 ▲用語の使い方については、1組と同様。 20×0.8=16 ▲かけ算の式の意味理解が不十分 (「かけられる数」の逆転) ▲単元1/13時2/13時の学習内容でとどまっている。 5/25 ◎1組での実践を生かして、『積』と『かけられる数』の大小関係を考えさせた。境界『1』の近くの場合を、実際に計算して確認させた。 < 3 組 > 5/25 ▲最初から、補充課題『かけ算では、いつも、「積」かけられる数?』も望みかけて、考えさせたが、その課題についての解答はまともななかった。 ・立式の傾向は、2組に同じ。36g、1.6gという答えはでた。 5/26 ◎児童の発表に他組の実践を生かして TK 計算してみなければわからない。 TN 2より小さいと小さくなる。 HY 「10」が「1」が「1」より小さいと小さくなる。 AE 1より大きいと大きくなる。	